2020.01.30

赤ちゃん学会

小嶋祥三

小林登先生が亡くなられたという。わたしは発達が関係した大型の科研費で研究グループを作っていた。その関係で、小林先生や小西行郎、小泉英明氏らと「赤ちゃん学会」を創立した（全員の名字の頭に「小」がつくなど、ショーモナイことが気になった）。ただ、わたしはこの学会から比較的早く抜けてしまったので、そして、所属が変わるなど精神的にキツイ時期が続いたので、学会のことは正直よく覚えていない。それでもオボロに覚えているのは、2001 年に開催された第 1 回の学術集会の打ち合わせのことだ。

わたしは京大・霊長研に在職中だったが、会場の選定などを任された。早稲田大学の大藪泰先生にお願いして、早大の国際会議場を利用させていただいた。この集会の打ち合わせを小林登、小西行郎先生らと、早大前の「高田牧舎」というレストランで行った。わたしは早大出身だが、「高田牧舎」はこぎれいで洒落た、という印象を持っていた。30 年ぶりに行ってみると大分変っており、内心あわてた。しかし、先生方は気にする様子はなく、ホッとしたのを覚えている。

第 1 回学術集会のプログラムを見ると、小西行郎会長で、瀬川昌也座長とある。2014 年に瀬川氏がなくなられ、そして去年秋に小西氏、暮れに小林先生が亡くなられた。赤ちゃん学会から遠ざかっているものの、しばらくの間だが道を共にした先生方が次々に亡くなられると、いろいろな思いが湧いてくる。先生方のご冥福をお祈り致します。